特67
425

西澤喜太郎編輯

信州善光寺御堂額之寫

并ニ靈驗記

信州長野書林
松葉軒藏梓

017071-000-8

特67-425

信州善光寺御堂額之写并ニ霊験記

西沢　喜太郎／編

M15. 4

ABE-0354

抑信濃善光寺御本尊ハ和国之因でんらいの尊ぞうにて高しく[illegible]
りくふく[illegible]老若男女あゆこをたこびさんにいするとこ[illegible]人この
[illegible]ところあり海利やく日くふ[illegible]にして信心ふりくきせいをうけ
[illegible]人くもうをくハ月をゑ[illegible]きおーハものをいひいさりハこーをとち
或ハもうどや如来前ますうをゆ[illegible]ハーくうんぎせーこぐもすく[illegible]
らに　御石はいりちこやくホまてかよまづこーもの死り[illegible]あげり又ハ
もうどや　御石はいりちこやくをいうどきこーるあども　御利生[illegible]
ちーを[illegible]るふあーそーて　如来前へ[illegible]かずおふーう[illegible]
ふーぐのるをまの[illegible]ふ[illegible]せさる人こにつくへく現当二世の仏恵を
ちーーめんとてゑあがくふうつさーむるのこ

聖徳太子御歌

そそげんこぐのみふ[illegible]かよあゆこのうおくれ[illegible]ハ[illegible]

如来の御詠歌

まちうどびてらーむとつけよこうあ人ふいつを[illegible]とてそうざるーん

中仙道信州[illegible]甲州[illegible]病[illegible]
[illegible]
[illegible]

ひぜんのくすりを尋ねう善光ちへまいる乃中よて女房[illegible]
[illegible]
[illegible]

寛政六年三月
十治
上総國佐貫在

寛政十二年
庚申五月
越前國坂井郡新保村
多田十郎右エ門
甥　太ゴ右エ門

尾州田中村
与左エ門

文化十一年
五月廿一日
美濃國方縣郡長良郷
鷺山村　貞善尼

辰八月二日

下総國山上郡
桃子岡地蔵
梁天

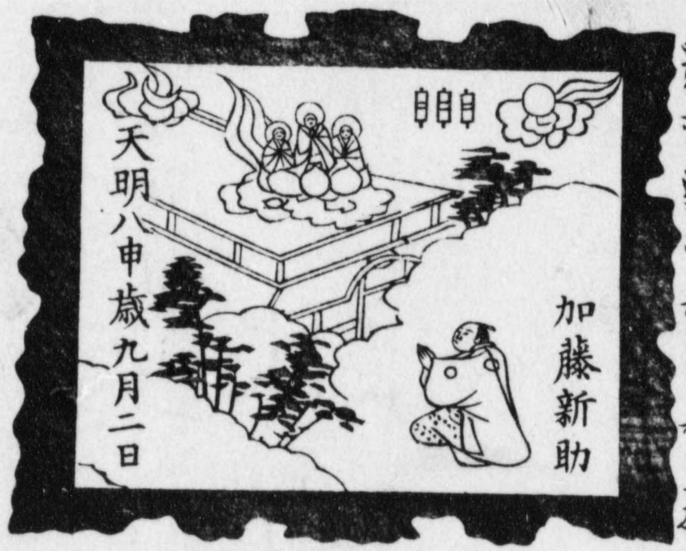
あちこのくようほうしゅ十二木村く庄兵衛さんはいしゅるふこと一ハつ〳〵ひおりそのうちのらがあせるまくあるさんのいあるものこうおほくおもひいくらしくまある日ひるねしておきやんくうちのかさふ　おかさ
りまよ白光のうちそれ善光ちまりやせんとおもひしてきたのこう
おそくふ一おがみいるよ山ゆふくえたあびき如来くるうまりまあち
らへごうしくるみをそ
ぬーまとみくありがさ
くそれまうくをへぎいい
うぐんくなつーやう
あうあんはんまりいく
ーてこの五年ばかりけ
い

文化九申年
四月廿七日
越後國魚沼郡
十二木村
庄兵衛

下総の國小てうーをうのだべ弥栄大大眠びやうとて五うんつふ
れー由へたとり〳〵て善光ちへさんはいーて七日つやーけるま
まんつくあううきに妙来光明加ふくとーて来迎ーるふを
あり〳〵并ーにと光へ長さあ長びあぶん長さもとの妙くまうるれ強
ろくおぐさのまを移ふて氏れまあ弟ー氏がを病なうば

文政九年
戌三月
四國讃州那賀郡
拔井村
安藤浅助

右作助四人りそぜんくうりうちへ
来りは処小児病死ときとき小児
乃れり妙来光明とかへるに同ふ氏
らへこうをおぐみまてふ乃
りぐくあまーておさり
年る

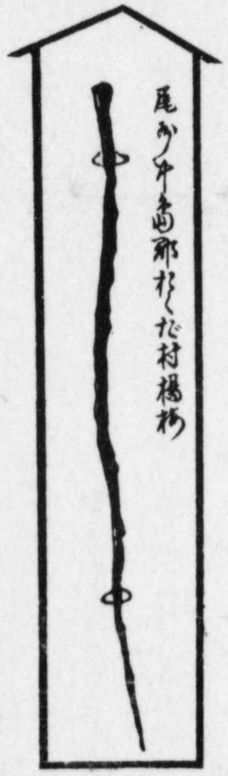


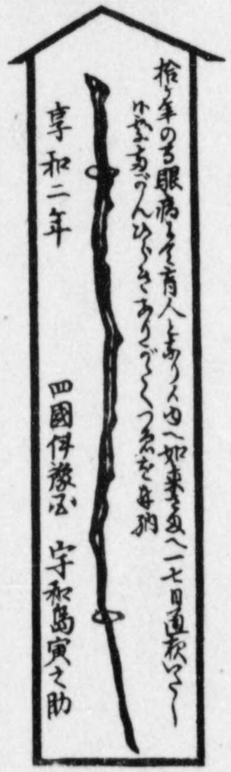
天明八申歳九月二日
加藤新助

氏形妙光明夕ふおこうーば善光ちゆ如来を伝
ぶんつくーとし〳〵来りーは加氏はいさいりをふ
夕の妙来ふおをこ五年おぐこあるこれどろて又氏さび
来乃仕ノ不氏ら氏迎をえへーふありおがさがくうて別ゆ

天保四年
巳三月十八日
かが賀国村水形
行者
源次

かくのでくこ三度まで
をがみやくあまりくりう
がくあを氏あげや





右氏かくのごとくゆうあくの目をひらきいざりのこしをたちまちなどはこぶつえをおさむるあさふをばうかくこれをのこす

○長野大門町ノ住人藤沢桑純ト云フ醫生シ二男某西南ノ役ニ出シニ或時海上ニテ難船セシガ某ハ明友ノ人ト二人互ニ手ヲ取リ合居タルガ折節暗夜ナリ木一本ダニアリナバト思セシニ其レサヘナク如何セント心細クカナシク思ヒ居シガ不斗國元出立ノ砌伯父長左エ門ナルモノ如来ノ御影一枚踐別ニソヘテクレタルヲ當人信心シテ懷中シテ居シヲ思ヒ出シケレバ危難ノホド救ハセ玉ヘト一心無二ニ念仏セシ所懷中ヨリ金光耀ヤトシテ暗夜ヲ照シケルニアタリヲ見レバ一本ノ木アリ是ニトリツキ両人共斷ク大難ヲ免レタリ

○長州ノ者ナルガ三人連ニテ弘化四丁未地震ノ時當地ニ止宿シ彼ノ大災ニ逢シ呼両人ハ漸ク出シカ一人ハ出ルヿ叶ハズ火カヽリタリ両人云フ様三人ニテ參詣シ一人死シテ両人何ントシテ帰ラレウ両人共此ノ火中ニ入テ死ナント既ニ覚悟ヲ極メタルニ傍ニ人アリテ其ノ由ヲ聞テ折角二人ハ出シニ其侭死スルモ詮ナカラズヤ何卒二人ヒ帰国シ此様子ヲ親類ニ物語リ其後入水スルヒ縊死トモシ給ト言レテ成程其レモサウシカヘッテ怨ミノ晴ル様イクラモ為シカト有シトテ帰ルニ其ヨリ前ノ一人死セシ亡霊國元ヘ現レ參詣セシガ多生ノ因縁ニテ吾一人死ヤリ其ノ時

ノ苦痛ハ譬フル物ナカリシガ直ニ如来ノ来迎ニ預リ往生ヲトゲ今ハ見佛聞法心ノマヽナリ両人モ一同ニ死ント云シモ如来ノ方便ニテ此度ヲ告ル為トテ帰国シ其両人イカ様ニモナラントノ覚悟ナレモ決テ恨ミテ下サレヌ様ニト告ケル故家内ノ者大ニ驚キ一度ハナゲキ又アキラメテ居タル所ヘ両人帰国シ地震ノ様子〻〻ト物語ル家内ノ者決テ心配シテ下サラヌ様ニ祈シタシ其故ハ〻〻トアリシコトヲ語シ氏上ハカリニ葬礼ヲセントテ藁ニテ人形ヲコシラヘ当人ニ擬ヒテ葬礼シ其ノ人形ノハイヲ墓所ニ埋ントテ仮ニ骨拾ノ式ヲ為セニ人形ノハイノ胸ノ所ニ舎利数粒アリ是ヲ見ルモノ唯アキレテ言ヲワスレ信心ノ感涙ニムセビタリトゾ

○寛文年中ノ江戸麻布ニ鈴木五兵ト云フ者アリ夫婦ニテ善光寺ヘ参リシニ朝岡帳ノ節石侯ノ下女戸帳ニ立テ拝スアリサマ夫婦不思議ノ思ヒ善光寺ヘハ死シテモ参ルトノ事其ニ両人参詣ニ出ル時同道ヲ願ヒタルヲマヅ此度ハト云ツケ置シガ気ノ毒千万留守ニ死去セシト見ヘルト夫婦如来前ニテヨク〳〵回向シ帰リタルニ下女ツヽガナシ不思議ナリトテ其ノ方ルスニ何カ善光寺ヘ心ヲヨセタタルフアリシヤト種々問フニ始メハカクシタリシカ段々問シカバ別ニコヽロヲヨセタルフナシ御両人

様ハ御参詣羨シキフナリ御主人ノ物ナカラセメテ一飯ナリモ拝備シテ備ヘント朝飯ヲウツスキ一飯ヅヽ善光寺ノ方ニ向テ備ヘシガ其デハソノカゲノウワリシニヤ何卒御ユルシ下サレト泣入ケレバ両人トモ隨喜ノ涙ニクレ何ニシカルトコロカト其レヨリ別ニ佛器ヲアタヒ毎朝飯ヲウツスキ下女ニアゲサセタリトゾ

○常州真壁郡某村ニ某ト云ノ者アリ寛爰年間ナリシカ其ノ人男子二人アリテ次子ヲ外ヘ養子ニ遣シタルガ死去セシニ其ノ亡霊善光寺ヘ参詣ン宿坊ニ止宿シ自分ノ戒名ヲ立シ位牌ヲ造立シテ帰レリソノ時證状ヲ持スシテ立出タリシカバ宿坊ヨリ追テ其ノ證状ヲ遣セシニ養家ニハツカスシテ實家ノ方ヘ着タリシカバ父母驚キ其ノ父親態々善光寺ヘ参詣シテ宿坊ニ尋ヌルニ其ノ自筆ニテ着帳シ年齢衣服等其ノ父ノ胸ニコタヘシカバ大キニ落涙哀慕シテ帰レリトソ

信州善光寺永代宿坊

明治十五年四月十五日 御届
同月二十四日 出版

編輯兼出版人 信州長野縣上水内郡長野町七百六十四番地 書肆 西澤喜太郎

定價金二錢